



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

大北がより

学校評価号②

令和5年12月25日

練馬区立大泉北小学校

校長 松井 貴子

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-ky.ed.jp/>大泉北小学校/

令和5年11月に保護者の皆様に学校評価アンケート20項目について回答していただき、449家庭中375、回収率約77%でした。ご多用の中、ご協力ありがとうございました。また、令和5年12月の児童アンケートの結果も、裏面に掲載しております。

皆様のからの貴重な評価、児童のアンケート結果と学校評議員の皆様からのご意見も参考にしながら、今後の教育活動の改善に努めてまいります。

◎保護者 学校評価アンケート

肯定的な回答が80%以上

10	お子様は、集団生活のきまりを理解し、責任をもった行動ができる。	91.1%
1	お子様は、楽しく学校に通っている。	90.8%
9	お子様は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身に付いている。	88.5%
2	お子様は、友達と仲良く生活している。	87.4%
4	お子様は、場に応じた返事や挨拶が身に付いている。	86.2%
15	学校は、体力向上や健康・安全に関する取組みをしている。	81.3%
20	学校は、保護者と協力し感染予防に留意して健康づくり、体力づくりに取り組んでいる。	80.1%

肯定的な回答が70%未満

- | | | |
|----|--|-------|
| 3 | お子様は、目標や夢をもって生活している。 | 68.9% |
| 6 | 学校は学校図書館の活用や読書活動を推進し「言葉の力」を身に付け、自ら考え判断し行動する子供を育てている。 | 65.2% |
| 5 | お子様は、傾聴の姿勢が身に付いている。 | 63.7% |
| 12 | お子様は、家庭学習において計画を立てて取り組み、家庭学習の習慣が身に付いている。 | 61.7% |
| 18 | 学校・家庭・地域が連携・協力し「目指す15歳の姿」を意識した多様な教育活動をしている。 | 56.2% |

肯定的な回答が70%以上80%未満

- | | | |
|----|---|-------|
| 19 | 学校は、学校施設の整備や校内環境美化に努めている。 | 78.7% |
| 17 | 学校は、教育目標及び方針、教育活動を分かりやすく伝えている。
(学校だより・HP・メール配信、保護者会等) | 78.3% |
| 14 | 学校・家庭・地域が連携、協力し「自分の身は自分で守る」安全教育を推進している。(PTA活動・保護者・ボランティア・応援団活動・地域行事等) | 78.1% |
| 7 | 学校は、ICT等を活用し、分かりやすい授業や楽しい授業に努めている。 | 77.8% |
| 11 | 学校は、心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・あおぞらルーム・養護教諭等、さまざまな相談できるところがあり、連絡や相談をしやすい。 | 77.2% |
| 13 | お子様は、学校での出来事や様子をよく話している。 | 77.0% |
| 8 | お子様は、SNSルール等を守り、タブレットパソコンを使って楽しく学習している。 | 75.2% |

学校生活 項目1・2・4・10

児童相互の関わりのよさが、学校生活を楽しく過ごすことにつながっている捉えることができる。学校行事や授業において、キャリア教育の視点を基にめあてを掲げて取り組んだ成果であり、また、友達のよさや感謝の気持ちを伝える場面を増やした成果である。場に応じた返事や挨拶については、日々の生活指導の取組が反映されている。また、ご家庭におけるお子様への関わりの成果といえる。

健康推進・体力向上 項目15・20

- ・基本的な生活習慣については、長期休業明けの「スッキリ生活」の取組や「全国健康づくり推進学校表彰事業」での取組で、健康教育を充実させ、自立した生活習慣が身に付くよう取り組んだ成果である。
- ・年2回の学校保健委員会と連携し、地域と保護者とともに健康づくり、健康についての知識理解を深めた。また、体力テストや学習結果等を活用し、体力づくりに取り組んだ成果と捉えている。

聴く・伝える力の育成 項目5

児童アンケート（89.9%）の結果と乖離しているが、日常的な取組で傾聴の姿勢が身に付くよう指導を重ねていくようにする。キャリア教育の「みんなで学び聴く・伝える力」を身に付けさせる取組を今後も特に「傾聴の姿勢について」保護者・関係機関の協力をいただきながら重点的に実施していく。

読書活動 項目6

学校図書館の活用や読書活動を推進した結果が現れつつある。読書旬間の取組において、朝の会や帰りの会で、読んだ本の感想や簡単なあらすじ等を発表する時間を設定し、言葉の力や思考力を育む取組を取り入れていく。読書活動を通し、夢や目標への課題意識をもたせるようにしていく。

定期的に家庭にもチェックをしていただき、児童の取組を支援していただくようにする。学校とご家庭との連携をさらに強くし、家庭学習習慣の定着を図るようにする。キャリア教育の「次のことを考える力」を身に付けさせる取組を今後も行っていく。

教育相談 項目 1 1

SC、心の相談員を活用し、児童一人一人に居場所をつくり、温かい人間関係が築くことができるよう一層の力を入れる。

家庭学習の取組 項目 1 2

家庭学習促進旬間に、お子さまが作った家庭学習の計画書をもとに、定期的に家庭にもチェックをしていただき、児童の取組を支援していただくようにする。学校とご家庭との連携をさらに強くし、家庭学習習慣の定着を図るようにする。キャリア教育の「次のことを考える力」を身に付けさせる取組を今後も行っていく。

地域連携の取組 項目 1 8

1 8 は地域の農業体験や白子川体験活動、海外の教育機関と連携した国際理解の教育の充実を図り、多様な教育を今後も進めていくようにするとともに、保護者へも通知し、家庭で1 3 の項目の「お子様は、学校での出来事や様子をよく話している。」へとつなげ、活動したことを話題にして学びを深めていく。

地域社会との連携事業を強化し、多様な教育活動を行っていく。